

としょかんゆうびん

中学年向け 令和4年 冬
相生市立図書館 0791-23-5151

1・2・3月のこどもげきじょう&カレンダー

■ おやすみ

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	*	*	*	*

1/22 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『てぶくろ』

おはなし「うさぎとひきのもち争い」

1/29 (日) 11:00~11:30

人形劇

「おおきなかぶ」



2月

開館時間・・・あさ9時～よる7時

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	*	*	*	*

2/11 (土) 11:00~11:30

トーンチャイム

「はるよ こい♪コンサート」

2/26 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『おおきなかぶ』

おはなし「こぶじいさま」



3月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	*

3/12 (日) 11:00~11:30

おんがくかい

「♪みんなでうたおう♪ハッピーコンサート」

3/19 (日) 10:30~11:30

えいが会

「三匹のこぶた」

3/26 (日) 11:00~11:30

おはなし会

絵本『かもさんおとおり』

おはなし「大工と鬼六」



2023年も

よろしくおねがいいたします

としょかんは、1月4日から かいかんしています。
今年も、家族やお友だちとたくさん本をよもう！

～まめちしき～

2023年の干支は・・・うさぎ(卯)ですね。

うさぎのかぞえかたを知っていますか？

ほかのどうぶつは「〇ひき」ですが、うさぎは

「1わ、2わ…」とかぞえるんです。

『数え方のえほん』

高野 紀子//作 あすなろ書房 81



おねがい

- ・体調の悪い人は、行事に参加できません。
- ・図書館に来るときは、検温、手指の消毒、マスクの着用をお願いします。



『雪の写真家ベントレー』

ジャクリーン ブリッグス マーティン//作 メアリー アゼアリアン//絵 千葉 茂樹//訳 BL 出版 P-7

アメリカの豪雪地帯（雪がほかの地域よりもたくさんつもるところ）にある小さな村に、ウィリーという男の子がいました。ウィリーは雪が何よりも好きでした。ウィリーは大人になってからも、雪の美しさを人々に伝え、研究をつづけました。「ウィリー・ベントレー」という人の一生をえがいた絵本。



『ときそば』川端 誠//作 クレヨンハウス P-カ (シリーズの本)

そば屋でそばをおいしそうに完食してすぐに「一つ、二つ、三つ…」と声を出して数えながら、わざわざ一枚ずつお金を出す男。お金は十六文（むかしのお金の単位）、はらわなければいけません。しかし男は、時間をおしえてくれるお寺の鐘の音をつかって、お金の支払いをごまかそうとします。



『ねこの看護師ラディ』 瀬上 サトリーノ//文 上杉 忠弘//絵 講談社 P-7

ある日、ポーランドにある動物のほごせつにラディという黒ねこがやってきました。病気で体の毛がぬげ、すっかりやせていましたが、やがて奇跡的に元気を取りもどします。それからラディは、せつにはこばれてくるどうぶつたちに、いつでもよりそうようになりました。ラディがそばにいるだけで、どうぶつたちの心はおだやかになるのです。本当にあったおはなしです。



『ゆきの中のふしぎなできごと』

マージョリー W.シャーマット//ぶん マーク シーメント//え 光吉 夏弥//やく 大日本図書 93-シ

大人気シリーズ「ぼくはめいたんてい」の第6弾。ある日ネートは変わり者の女の子、ロザモンドからたんていのしごとをたのまれます。「あなたにおくるはずだったたんじょうびプレゼントをどこかにおとってしまった」というのです。

自分あてのプレゼントを自分でさがすなんて…それに、ネートのたんじょう日は7月で、もうとっくにすぎています。

いったいどんなプレゼント？ネートは見つけだすことができるのか？



どうぶつのおはなし

『金のニワトリ』

エレーン ポガニー//文 ウイリー ポガニー//え 光吉 夏弥//やく 岩波書店 P-ホ (小型絵本)

あるところに^{おう}王さまがいました。王さまは、毎日^{まいにち}ごちそうをおなかいっぱい^た食べ、大きな^{おお}ベッドでひるねをして、のんきに^くくらししていました。いっぽう、王さまの^{くに}国のとなりの「くらやみ山」には、わるいまほう^{つか}使いが^{おう}すんでいました。王さまに^{はら}腹をたてて^{つか}いたまほう^{くに}使いは、^{てした}国に^{おく}手下を送りこみました。おかげで^{くに}国は大^{だい}こんらん。困^{こま}りは^{おう}たてた王さまのもとに、ひとりの^{としよ}お年寄りが^かたずねてきました。彼^{かれ}が^いもってきたのは、^{いちわ}一羽の^{きん}金のニワトリ。いったい^いどうなるのでしょうか？

『りすのスージー』

ミリヤム ヤング//ぶん 光吉 郁子//やく アーノルド ロベル//え 大日本図書 93-ヤ

りすのスージーは、^{たか}高い^きかしの^き木の^ひてっぺんに^いくらししていました。ある日、あばれんぼうの^いあかり^だすたちに^い家をおい^い出されて^いしまいます。どこに行けば^いいいかわからず^い困っていると、^{ふる}古い^あ空き^や家^みを見つけました。^や屋根^ねうらには、^{にんぎょう}きれいな^い人形の家が。スージーは^{はこ}ここで^{なか}くらす^へことに^いしました。箱の中^いにいた^{なか}おも^いちやの^な兵隊と^よ仲良^いくく^いらしていたスージー^いでしたが…。



『ちいさなライオン』 ジャック プレヴェール//文 イーラ//写真 小高 美保//訳 文遊社 P-プ

ここは^{どうぶつえん}動物園。夜^{よる}になると、おかあさん^いライオンが^いライオン^いくんに^いジャングルの^いぼう^いけんの^いおはなし^いをして^いくれます。おはなし^いを^いむち^いゆうで^い聞いた^いライオン^いくんは、^{どうぶつえん}動物園^いの人が^い見て^いいない^いあ^いだに、^いこっそり^いぬ^いけ^いだ^いしました。公園^いに^いま^いい^いこんで^いひとり^いぼ^いち^いの^いライオン^いくんに、^{つぎ}次々と^いあ^いたら^いしい^い出^い会^いいが。野生^いの^い世界^いでは^いめ^いった^いに^い見^いられ^いない、^いかわ^いいら^いしい^い写^い真^いが^いい^いっぱい^いです。いろ^いんな^いもの^いを^い見て、^いの^いび^いの^いび^い大^いき^いく^いな^いって^いね。

なるほど！ちしきの本

『進化のはなし 地球の生命はどこからきたか』



スティーブ ジェンキンス//作 佐藤 見果夢//訳 評論社 46

わたしたちが^{ちきゅう}くらす^い地球^いに、^い生き^いものが^い現^いれた^いのは、^い今^いから^い40億^い年^いくら^いい^い前^い。
^{すうひやくまん}数百万^いの^い生き^いものが^いや^いって^いきた。^{きょうりゅう}恐竜^いの^いよう^いに、^いぜ^いつ^いめ^いつ^いした^いい^いき^いもの^いも、^い同^いじ^いく^いら^いい^いる^いん^いだ^いって。^い生き^い残^いった^い生き^いもの^いの^いち^いが^いい^いは^い何^いだ^いら^いう^い？
わたしたちが^う生ま^いれる^い前^いの^い地球^いって^いこ^いう^いだ^いった^いん^いだ^い！と^いお^いど^いろ^いく^い一^い冊^い。

『おひなさまの平安生活えほん』 ほりかわ りまこ//作 あすなろ書房 38

2月のある日、すみれちゃんと妹のあかねちゃんは、お母さんやおばあちゃんといっしょに、おひなさまをかざります。おひなさまのことをくわしく知りたくなったふたりは、車を引く牛のあとにつづいて、平安時代の都へ。ひなまつりっていつ、どのようにして生まれたの？ひなまつりはどうして3月3日なの？おひなさまのモデルになったのはどんな人？などなど、平安時代の人々のくらしや、おひなさまの歴史がわかるえほん。



すき？きらい？

『ちいさくなったおにいちゃん』

ウィリアム スタイグ//作 木坂 涼//訳 セーラー出版 P-ス

むかし、ベーデという錬金術師がいました。ベーデさんはいろいろなものを「金」にかえる研究をしています。ベーデさんには、むすこがいました。お父さんみたいになりたい兄ヨリックと、のんびりやの弟チャールズ。ふたりは、仲良しというわけではないようです。あるとき、ベーデさんとおくさんがいないあいだに、兄弟にふしぎなことがおこります。

『ラブレター物語』 丘 修三//作 ささめや ゆき//え 小峰書店 91-オ

ずっと好きだったけいこちゃんが転校することを知ったぼくは、うまれてはじめてラブレターを書きます。今まで、いろんないじわるをしたけれど、それは全部、照れかくし。

あと三日で、けいこちゃんにぼくの想いを知ってほしい。うまく伝えることができるかな？応援したくなる、かわいらしいおはなし。



『けんかのたね』 ラッセル ホーバン//作 小宮 由//訳 大野 八生//絵 岩波書店 93-ホ

お父さんがつかれて家にかえると、家の中では四人の子どもたちが大げんかをしていました。犬もねこもみんな大さわぎ。「いったいだれをしかっていいのやら…」とお母さんもくたくたです。子どもたちはみんな、「自分のせいじゃない」といいわけばかり。でも、犬のボンゾーとねこのブスはだまされたまま…。さて、このけんかのはじまりは何だったのでしょ。ちいさなきっかけが分かればきっと、仲なおりでできるよね。